

令和5年度行事日程表(案)

令和5年3月14日 公益財団法人全日本剣道連盟

名	開催地	期 日	備考
第21回 全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市	4月16日(日)	
第71回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市	4月29日(土)	
第119回 全日本剣道演武大会	京都市	5月2日(火)～5日(金)	
第15回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	千代田区	7月9日(日)	○
第69回 全日本東西対抗剣道大会	沖繩県	9月24日(日)	
第62回 全日本女子剣道選手権大会	奈良・福岡市	9月3日(日)	
第50回 全日本杖道大会	横浜市	10月15日(日)	
第58回 全日本居合道大会	足立区	10月21日(土)	
第71回 全日本剣道選手権大会	千代田区	11月3日(金祝)	
第56回 全国教育系大学学生剣道大会	渋谷区	R6年3月2日(土)～3日(日)	
令和5年度全日本少年少女武道(剣道)錬成大会	千代田区	7月22日(土)～23日(日)	
令和5年度全国高等学校定時制通信制体育大会第54回剣道大会	千代田区	8月7日(月)	
第65回 全国教職員剣道大会	松江市	8月10日(木)	
第70回 全国高等学校剣道大会	帯広市	8月3日(木)～6日(日)	
第53回 全国中学校剣道大会	愛媛県	8月18日(金)～20日(日)	
第71回 全国青年剣道大会	足立区	11月11日(土)～12日(日)	
第46回 全国スポーツ少年団剣道交流大会	前橋市	R6年3月29日(金)～31日(日)予定	
第33回 全国高等学校剣道選抜大会	愛知・春日井市	R6年3月26日(火)～28日(木)	
特別国民体育大会 剣道大会	鹿児島県	10月8日(日)～10日(火)	○
第3回 コンバットゲームズ	サウジアラビア リヤド	10月28日(土)～29日(日)	
審 剣	六 段	京都市	4月29日(土)
	七 段	"	4月30日(日)
	八 段	"	5月1日(月)～2日(火)
	称 号 (範士・教士・錬士)	"	5月6日(土)
	七 六 段	名古屋市	5月13日(土)
	六 段	"	5月14日(日)
	国 際 初 段 ～ 六 段	名古屋市	8月12日(土)～13日(日)
	八 七 六 段	新潟県	8月5日(土)
	七 六 七 段	"	8月6日(日)
	六 七 六 段	福岡県	8月26日(土)
	七 六 七 段	"	8月27日(日)
	七 六 七 段	名古屋市	11月11日(土)
	七 六 七 段	"	11月12日(日)
	称 号 (教士・錬士)	八王子市	11月15日(水)
	六 七 六 段	"	11月15日(水)
	七 六 七 段	"	11月16日(木)
	八 七 六 段	千代田区	11月21日(火)～22日(水)
	七 六 七 段	福岡市	R6年2月3日(土)
六 七 六 段	"	R6年2月4日(日)	
七 六 七 段	長野市	R6年2月17日(土)	
六 七 六 段	"	R6年2月18日(日)	
居 合 道	八 段	京都市	5月3日(水祝)
	称 号 (範士・教士・錬士)	"	5月3日(水祝)
	七 六 七 段	栃木県	7月21日(金)
	称 号 (教士・錬士)	八王子市	11月15日(水)
	八 七 六 段	江戸川区	12月9日(土)
	七 六 七 段	江戸川区	12月10日(日)
	八 七 六 段	京都市	R6年3月3日(日)
	七 六 七 段	京都市	5月3日(水祝)
杖 道	称 号 (範士・教士・錬士)	"	5月3日(水祝)
	七 六 七 段	兵庫県	8月18日(金)
	称 号 (教士・錬士)	八王子市	11月15日(水)
	八 七 六 段	江戸川区	R6年3月8日(金)

観客制限無

観覧無

R6 世界大会前
審判講習会

格闘技
剣道 120 名

名 称	開催地	期 日	備考				
第58回 中央講習会	神戸市	4月1日(土)～2日(日)					
第28回 女子審判法講習会	姫路市	R6年1月13日(土)～14日(日)予定					
第26回 女子審判研修会	静岡市	5月20日(土)～21日(日)					
第27回 女子審判研修会	勝浦市	7月29日(土)～30日(日)					
第61回 中堅剣士講習会	奈良市	6月9日(金)～11日(日)					
第33回 剣道八段研修会	日野市	6月23日(金)～25日(日)					
第48回 国際剣道指導者講習会		R5年度開催せず					
第30回 講師要員(指導法)中央研修会	勝浦市	10月21日(土)～22日(日)					
第31回 講師要員(指導法)中央研修会	"	R6年3月9日(土)～10日(日)					
第 回 講師要員(試合・審判)中央研修会	勝浦市	6月3日(土)～4日(日)					
第 回 講師要員(試合・審判)中央研修会	"	R6年1月20日(土)～21日(日)					
第14回 女子剣道指導法講習会	静岡市	5月27日(土)～28日(日)					
第15回 女子剣道指導法講習会	姫路市	R6年2月17日(土)～18日(日)予定					
剣道研究会	北本市	R6年2月24日(土)～25日(日)					
ブロック	骨太講習会	講師要員(指導法)研修会	講師要員(試合・審判)研修会				
ブ ロ ッ ク 講 習 ・ 研 修 会	北海道	北海道千歳	10/28～29予定		北海道札幌	4/22～23予定	
	東北	秋田秋田	12/23～24予定	福島福島	9/10予定	山形	5/13～14予定
	関東	茨城水戸	6/10～11予定	東京	8/6予定	山梨甲府	8/26～27予定
	東海	岐阜大垣	12/16～17予定			三重伊勢	4/22～23予定
	北信越	石川金沢	6/24～25予定	富山富山	9/18予定	新潟	7/15～16予定
	近畿	和歌山和歌山	12/9～10予定			和歌山和歌山	10/28～29予定
	中国	広島呉	7/22～23予定	広島福山	6/18予定	鳥取	10/14～15予定
	四国	徳島鳴門	10/21～22予定	香川高松	7/2予定	愛媛伊予	9/9～10予定
	九州	長崎	11/25～26予定			福岡福岡	12/23～24予定
	ブロック	幼少女女子講習会					
北海道	札幌市	11月11日(土)～12日(日)					
近畿	兵庫県	R6年1月27日(土)～28日(日)予定					
北信越	長野県	12月16日(土)～17日(日)予定					
道 社会体育指導員養成講習会	第144回	[初級専門科目]	高崎市	5月26日(金)～28日(日)			
	第145回	"	和歌山市	6月23日(金)～25日(日)			
	第146回	"	福井市	10月20日(金)～22日(日)			
	第147回	"	大分市	12月15日(金)～17日(日)			
	第148回	"	姫路市	R6年1月12日(金)～14日(日)			
	第25回	"(学生)		月日0～日0			
	第26回	"(学生)		月日0～日0			
	第59回	[中級専門科目]	大津市	9月8日(金)～10日(日)			
	第60回	"	勝浦市	9月29日(金)～10月1日(日)			
	第39回	[上級専門科目]	勝浦市	R6年2月2日(金)～4日(日)			
第40回	"	大津市	R6年3月1日(金)～3日(日)				
第109回	[初級更新]		※書面審査 9月29日(金)				
令和5年度八段・70歳以上	"		※書面審査 9月29日(金)				
第75回	[中級更新]		※書面審査 9月29日(金)				
令和5年度八段・70歳以上	"		※書面審査 9月29日(金)				
第49回	[上級更新]		※書面審査 9月29日(金)				
令和5年度八段・70歳以上	"		※書面審査 9月29日(金)				

備考 ○は、日ス協・日本スポーツ振興センター・JOC等の補助金事業。

令和5年度 行事日程表(案)
後援大会

		名称	開催地	期 日
講習会	剣道	第1回 男子強化訓練講習会	勝浦	5月25日(木)～28日(日)
		第2回 "	勝浦	7月11日(火)～14日(金)
		第3回 "	東京	9月29日(金)～10月2日(月)
		第4回 "	アメリカ予定	11月下旬～12月初旬
		第1回 女子強化訓練講習会	勝浦	4月20日(木)～23日(日)
		第2回 "	勝浦	6月13日(火)～16日(金)
		第3回 "	未定	8月22日(火)～25日(金)予定
		第4回 "	勝浦	10月15日(日)～18日(水)
	第5回 "	勝浦	12月4日(月)～7日(木)	
	居合道	中央・地区講習会	高知県	7月1日(土)～2日(日)
		"	栃木県	7月22日(土)～23日(日)
	杖道	中央・地区講習会	兵庫県	8月19日(土)～20日(日)
"		江戸川区	R6年3月9日(土)～10日(日)	

R6 世界大会前
強化訓練

合同稽古会	全国	東京都 原則毎月1回
	北海道	札幌市4/8(土)、札幌市6/10(土)、旭川市9/9(土)、 札幌市10/7(土)、札幌市11/18(土)、札幌市R6年2/10(土)
		東北
	北信越	金沢市4/1(土)、長野県中野市9/30(土)、富山市12/2(土)
	東海	名古屋市4/1(土)、小牧市6/3(土)、名古屋市7/1(土)、名古屋市8/5(土)、名古屋市9/2(土)、 名古屋市10/7(土)、名古屋市11/4(土)、名古屋市R6年2/3(土)、名古屋市R6年3/2(土)
		近畿
	中国・四国	広島市4/22(土)、松山市6/24(土)、岡山市7/1(土)、高松市9/2(土)、 広島市9/9(土)、徳島県美馬市12/2(土)、岡山市R6年2/3(土)、高知県R6年3/10(土)
		九州

委託事業	期 日	開催剣連	名 称	会 場
	9月9日(土)～10日(日)	全剣連・スポーツ庁	スポーツ庁委託事業 講師(授業協力者養成)中央オリエンテーション	日本武道館研修センター

共催講習会	期 日	開催剣連	名 称	会 場
	10月13日(金)～15日(日)	全剣連・日本武道館・全学校剣連	全国剣道指導者研修会(指導法)	東日本ブロック・三重県(桑名市民体育館)
	11月17日(金)～19日(日)	全剣連・日本武道館・全学校剣連	全国剣道指導者研修会(指導法)	西日本ブロック・広島県(福山市総合体育館)

	大 会	開催地	期 日
1	令和5年度 全国税関柔剣道大会		中 止
2	第64回 関東実業団剣道大会	千代田区	6月4日(日)
3	第62回 西日本勤労者剣道大会	高知市	6月11日(日)
4	第45回 全日本高齢者武道大会	千代田区	6月5日(月)
5	第57回 全日本女子学生剣道選手権大会	千代田区	7月1日(土)～2日(日)
	第71回 全日本学生剣道選手権大会(個人戦)		
6	第62回 東北・北海道対抗剣道大会	秋田市	7月2日(日)
7	令和5年度玉 竜 旗 高 校 剣 道 大 会	福岡市	7月25日(火)～29日(土)
8	第57回 全国道場少年剣道大会	千代田区	7月27日(木)～28日(金)
9	第72回 日光剣道大会	日光市	
10	第58回 全国高等専門学校学校体育大会剣道競技	千葉市	8月26日(土)～27日(日) 予定
11	第18回 全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市	9月17日(日)
12	第62回 全国郵政武道大会(剣道)		
13	第47回 全国道場少年剣道選手権大会(男子)	上尾市	10月15日(日)
	第40回 全国道場少年剣道選手権大会(女子)		
14	第65回 全日本実業団剣道大会	千代田区	9月18日(月祝)
15	第55回 全日本官公庁剣道大会	足立区	10月22日(日)
16	第71回 全日本学生剣道優勝大会(団体戦)	大阪市	11月5日(日)
17	第54回 NTTグループ全国剣道大会	江東区	10月22日(日)
18	第35回 全国健康福祉祭剣道交流大会	松山市	10月28日(土)～30日(月)
19	第42回 全日本女子学生剣道優勝大会(団体戦)	春日井市	11月12日(日)
20	第38回 全日本学生居合道大会		
21	第68回 全日本なぎなた選手権大会	松山市	12月3日(日)
22	第17回 全日本学生剣道オープン大会(個人戦)	金沢市	12月16日(土)～17日(日)
23	第49回 全国自衛隊剣道大会	練馬区	6年2月10日(土)～11日(日)
24	第25回 全日本実業団女子剣道大会・高壮年剣道大会	足立区	6年3月1日(金)～2日(土)
25	第 回 全日本学連剣友剣道大会		
26	第65回 全国選抜少年剣道錬成大会	水戸市	6年3月31日(日)
27	第51回 魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会	秋田市	6年3月29日(金)～31日(日)
	第38回 魁星旗争奪全国高校女子剣道大会		
28	第32回 J R グループ剣道大会	名古屋市	11月17日(金)
29	第 回 国土交通大臣杯剣道大会		未定

※は隔年開催

1) スポーツ庁 令和5年度事業「令和の日本型学校体育構築支援事業」
③多様な武道等指導の充実及び支援体制の強化 【行程図】

武道必修化WG (4/13)授業協力者指導充実・資質向上カリキュラムの見直し

武道等指導の充実及び支援体制の強化事業説明・協力要請(事務局長会議4/28)

コーディネーター任命 (6月初旬)

コーディネーター中央オリエンテーション (オンライン方式)
各都道府県2名 (7月中旬)

授業協力者指導充実・資質向上講師中央オリエンテーション (千葉県勝浦市)
各都道府県2名 (9/9・10)

- * 各都道府県で「授業協力者指導充実・資質向上講習会」実施 (9月~12月)
- * 授業協力者活用中学校公開授業の実施 (都道府県(4校), 9月~令和6年1月末)
- * 各都道府県で授業協力者活用中学校(各1校)アンケート調査(9月~令和6年1月末)

・データベースシステムの改善
・授業協力者データベース作成
9月~令和6年2月初

学習効果の分析・検証 (10月~令和6年2月初)

・報告書作成
令和6年3月

新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法
全日本剣道連盟試合・審判委員会

【趣旨】

1. 主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインの遵守(感染予防)。
2. 不当な「つば(鍔)競り合い」および意図的な「時間空費」や「防御姿勢による接近する行為」の防止。
 - ・これまでの試合は試合時間の約半分以上が、「つば(鍔)競り合い」に費やされていると言われている。これを改めて、構え合って攻め合う試合展開へ移行する。
 - ・剣道の試合にとって「勝負」の要素は大事であるが、姑息な勝負の仕方を是正し、反則ギリギリの勝負ではなく真っ向から勝負をする態度を養う。
 - ・「つば(鍔)競り合い」については試合者の態度や心の問題が大きく影響し、規則だけで裁くのは困難である。試合者と審判員が共通に理解し、一体となって、良い試合の場を醸成する。

【審判員と試合者が共通に理解する主な事項】

1. 意図的な時間空費や防御姿勢(勝負の回避)による相手に接近するような行為は、規則第1条に則り反則を適用する。
2. 「つば(鍔)競り合い」あるいは相手と接近した場合は、試合者は積極的に技を出すか、積極的に解消するように努力しなければならない。試合者は、審判員の「分かれ」や「止め」の宣告を待つのではなく試合者双方で分かれる努力をする。
- 変 3. 「つば(鍔)競り合い」解消に至る時間は「一呼吸(目安としておよそ3秒)」とする。
4. 相互に分かれようとしている途中に技を出さない。この場合は技を出しても有効打突とはしない。分かれようと思わせかけて打突する行為は反則を適用する場合がある。また、分かれる途中に相手の竹刀を「叩いたり」「巻いたり」「押さえついたり」「逆交差」をしない。(審判員は状況や原因を踏まえた上で合議により判断する)
5. 試合者は、分かれる場合は剣先が完全に触れない位置まで互いに分かれる。
6. 分かれる場合は剣先を開いたり、下げて分かれぬ。
7. 「つば(鍔)競り合い」を解消する場合は双方がバラバラに下がらない。また、双方が徐々に下がるのではなく、正しい「つば(鍔)競り合い」から鍔と鍔で競り合う(押し合う)力を利用して一気に下がる。
- 変 8. マスクの着用について
選手：面マスクまたはシールドを着用する。
審判員：マスクは着用しない。ただし控え席でのマスク着用は個人の判断とする

以上

平成 19 年 3 月 14 日

剣道試合・審判・運営要領の手引き

2 つば(鏢) 競り合いについて

つば(鏢) 競り合いは、鏢と鏢とが競り合って互いが最も接近して緊迫した間合である。鏢競り合いは攻防や打突行動の中から発生した相対関係である。

鏢競り合いになった場合は、試合者は積極的に技を出すか、積極的に解消するように努めなければならないのである。しかし、鏢競り合いが長く続くようであれば、基本的には次の観点から判断する。

- ① 正しい鏢競り合いをしているか。
- ② 打突の意志が有るか。
- ③ 分かれる意志が有るか。

目的と現象を見極めて段階的な基準によって判断する。その判断・処置は概ね次のように集約される。

○ 一般的に見て異常な行為であれば、不当な鏢競り合いとなる。「一般的に見て異常な行為」という判断は、第 1 条の目的に帰結することになる。

こうしたことに加えて、「時間的な経過」「状勢」なども踏まえて、総合的かつ客観的に考察し、さらに合議によって判断・処置する。

○ 終始、拳が相手の竹刀の刃部にかかっているような場合は、明らかに不当な鏢競り合いである。

○ 鏢競り合いから打突に結びつけるための瞬間的な崩しはあるが、長く続けば異常と判断される。

○ 技を出す為に起こした瞬間的な行為や、技につながる瞬間的な行為であると判断したならば、問題にはならない。

○ 打突に移る手段としての瞬間的な逆交差であれば問題にしない。

○ 暴力的であったり、意図的なひっかけ(ひっかけることを目的にする)や、一般的に見て異常な行為であれば、禁止行為に該当する。

○ こうちやく(膠着)の状態を安易に考えないようにする。安易に「分かれ」を宣告すると、試合者は審判員の「分かれ」に頼り、これを利用してしまふことになりかねない。

○ 判定に関する権限は審判員三人が同等であるが、膠着や不当な鏢競り合いに関する処置は、試合の運営にかかわる主審の専決権限の事項である。

以上

新型コロナウイルス感染症が収束するまでの
暫定的な試合・審判法運用の質問事項及び解説

全日本剣道連盟 試合・審判委員会

1 審判法の解釈について

この運用は、「剣道試合・審判規則、細則」の変更ではない。『剣道試合・審判・運営要領の手引き』P9、三「規則の解釈と運用」2「つば(鏝)競り合いについて」の文言の具現化が感染症予防に効果大きいことから、解釈をより厳格化し規則の運用を行うものである。

2 質問事項

事項	解説
(1) 境界線間際において試合者相互がつば競り合いから分かれる場合の運用	
境界線間際におけるつば競り合いから分かれる場合の運用で、「試合者」「審判員」の留意点は？	試合者は場外に出てはならないが、主審は、 <u>試合者がつば競り合いの解消を目的に出そうになった場合は、ただちに「止め」をかけることが重要である。</u> ただし、試合の運用上、 <u>やむを得ず場外に出てしまった場合は、合議の上、その時の状況により判断する。</u> 試合者は分かれる際、互いに場外へ出ないように調整し、 <u>意図的に相手を場外に出るように仕向けてはならない。</u> 主審はそれを適切に処置することが肝要である。その他、境界線間際での本運用を悪用するような不当行為は見逃さないこと。
(2) 逆交差や竹刀を開いたり、下げたりして分かれた際の運用	
逆交差や竹刀を開いたり、下げたりして分かれた際、審判員はどのように見極めたらよいか？	竹刀の「開き方」や「下げ方」の程度や頻度による。再三(2～3回程度)繰り返したり、 <u>意図的な行為ならば合議の上、目的と現象を見極めて反則を適用する。</u>
(3) 接近した状況での掛け声	
接近した状況で掛け声を発する試合者に対して、審判員はどのように見極めたらよいか？	感染症予防の観点から飛沫防止に欠かせない事項である。 <u>無意識での掛け声と思われる場合は、主審は試合を中止し「指導」する。</u> <u>指導後も繰り返されるようであれば、合議の上、反則を適用する。</u>
(4) 反則内容の説明	
反則と判定した場合、試合者にその説明は必要か？また、その際の留意点は？	反則内容について説明が必要と思われる場合は「合議」後に、 <u>規則第37条を適用し、理由を述べる</u> ことができるものとする。その場合は <u>試合者及び観衆にも理解できるようにジェスチャー等も交えながら明確に知らせる。</u>

<p>(5) つば(鏢)競り合いの解消の際の見極めについて</p>	
<p>つば(鏢)競り合いの解消の際に審判員が見極める上での留意点は？</p>	<p>「つば(鏢)競り合い」の解消に至る時間はおよそ「一呼吸(※目安としておよそ3秒)」とし、<u>双方が鏢と鏢で競り合う(押し合う)力を利用して一気に下がる。また、解消の際に一本先取された試合者が早く勝手に下がったり、逆に先取した試合者はなるべく時間を掛けて分かれるような場面が見受けられる。一般的に先取した方の選手を時間空費の反則にとる傾向が見受けられるが、目的と現象をよく見極めて総合的に判断する。</u> ※目安の根拠:成人安静時の1分間の呼吸数は約12回から20回とされていることを参考に「一呼吸≒およそ3秒」とした。</p>
<p>(6) 相互に分かれようとしている途中に技を出さない</p>	
<p>相互に分かれようとしている途中に技を出した場合の対処方法やその運用の留意点は？</p>	<p>「つば(鏢)競り合い」は鏢と鏢が競り合って最も緊迫した間合であるので、互いに気を抜かないことが重要である。ただし、「一呼吸(およそ3秒)」後、相互に「<u>分かれようとしている途中</u>」に技を出しても有効打突とはしない。<u>明らかに「分かれようと思わせて」技を出した場合は合議の上、反則を適用する。</u> 「相互に分かれようとしているとき」の技なのか「一呼吸(およそ3秒)」以内の引き技なのか微妙な事象が生じた場合は、<u>合議の上、目的と現象を見極めて判断する。</u> なお、「つば(鏢)競り合い」からの引き技を出す場合は「<u>一呼吸(およそ3秒)</u>」以内とする。</p>
<p>分かれ際の引き技及び一呼吸後の引き技における有効打突の見極めは？</p>	<p>分かれ際の引き技か一呼吸後の引き技か<u>の見極めについては、試合を運営する主審の専決事項</u>であるので、<u>原則として副審は「合議」をかけることはできない。</u>主審の裁量や適格な見極め及び審判員3人の意志の統一や連携が大切である。 ※主審は、<u>一呼吸(およそ3秒)後の引き技に対しては「止め」を宣告し反則を適用する。</u>若しくは<u>膠着した場合は「分かれ」をかける。「分かれ」をかける場合は正しい「つば(鏢)競り合い」を行っている事が前提である。</u>基本的に膠着がみられる場面はごく限られているため「<u>分かれ</u>」の多発にならないようにする。また、<u>安易に両者反則にしない。</u></p>

令和5年度(第58回)剣道中央講習会資料

日本剣道形

1. 制定の経緯

明治44年(1911)7月、「中学校令施行規則」が一部改正され撃剣が柔術と共に中学校の正科として採用されることになった。そこで、大日本武徳会、文部省、東京高等師範学校の三者が協議し、明治44年12月、剣道形制定の調査委員会を設置した。主査として根岸信五郎、辻 真平、内藤高治、門奈 正、高野佐三郎の5氏が委任され草案を作成した。更に全国を11区分し、20名の調査委員が招聘され、鋭意調査研究の結果、大正元年(1912)10月16日、「大日本帝国剣道形」が制定された。指導上の統一を図ることを目的に、いずれの流派にも属さない、流派統合の象徴として制定したものである。大正6年(1917)9月、所作に関する細部の解釈の違いから不統一が顕著となったため、「加註」が施された。さらに昭和8年(1933)5月、剣道形の更なる普及発展と細部の所作に対する詳解の必要性から「増補加註」及び写真説明(打太刀・高野佐三郎、仕太刀・小川金之助)がなされ、統一の徹底が図られた。

昭和27年(1952)、全日本剣道連盟が結成され、大日本帝国剣道形を「日本剣道形」と改称し、実施することとなった。昭和56年(1981)12月7日に、文書表現や仮名遣いを現代文に改めた「日本剣道形解説書」を作成した。平成元年(1989)に「講習会資料」の作成がはじまり、平成15年(2003)に「剣道講習会資料」第1版が発行され、現在第6版(平成24年発行、同29年一部修正)に至る。

2. 意義

日本剣道形は、長い歴史を持ち、理合・精神面に深い内容を持つまでに発達した伝統文化である。この伝統文化である、剣道形を正しく伝承し、次代に伝えることは大きな意義がある。

3. 修錬の目的

日本剣道形の修錬を通じて、剣道の原点である「剣の理法」を学び、剣道の正しい普及発展に役立てることが目的である。

4. 重点事項(剣道講習会資料)

- (1) 立会前後の作法、立会の所作、刀の取り扱い。
- (2) 正しい刀(木刀)の操作(刃筋、手の内、鎧の使い方、一拍子の打突など)や体さばき。
- (3) 打太刀、仕太刀の関係を理解し、呼吸を合わせ、原則として仕太刀が打太刀より先に動作を起こさないこと。
- (4) 打太刀は間合に接したとき、機を捉えて打突部位を正しく打突し、仕太刀は勝機を逃すことなく打突部で打突部位を正確に打突すること。
- (5) 形の実施中は、目付け、呼吸法、残心などを心得て、気分を緩めることなく終始充実した気迫で行うこと。

5. 日本剣道形の効果

日本剣道形は、先人が英知を傾け、鋭意調査協議を重ねて制定したものであり剣道の基礎的な礼法や技術、そして剣の理法を示したものである。高野佐三郎『剣道』では「斯道の練習法三様あり、第一・形の練習、第二・仕合、第三・打ち込み稽古、是なり」と形修錬の重要性を説いている。

剣道形の修錬により以下の効果が得られる。

- (1) 礼儀作法や落ち着いた態度が身につく。
- (2) 姿勢が正しく、動作も機敏になる。
- (3) 相手の気持ちや動作を観察する観の目が養われる。

- (4) 技術上の悪癖をなおすことができる。
- (5) 呼吸や正しい太刀筋を会得できる。
- (6) 間合や打突の機会を修得できる。
- (7) 打突が正確になり残心が会得できる。
- (8) 気が錬れて、気迫・気合や発声が充実する。
- (9) 心と技の理合が会得できる。
- (10) 気位が高まり、気品や風格が備わる。

6. 指導上の基本的な留意点

- (1) 『日本剣道形解説書』『講習会資料「日本剣道形」』を熟読させ、剣の理法に基づく剣道形を体得させる。
- (2) 立会の所作、刀の取り扱い(特に小太刀の置き方)を適切に行わせ、刀(木刀)の操作(刃筋・鎧の使い方・手の内)、一拍子の打突及び体さばきを正しく行わせる。
- (3) 五つの構え及び小太刀の形においては、半身の構え、入り身の所作を自得させる。
- (4) 打太刀(師の位)、仕太刀(弟子の位)の関係を理解して呼吸を合わせ、合気となり、終始充実した氣勢、気迫で行わせる。原則として仕太刀が打太刀より先に始動しないようにさせる。
- (5) 太刀の形は、「機を見て」(機とは、心と体と術の変わり際に起こるときの兆しのこと)打つのである。この場合、打太刀が仕太刀に勝つ所を教えているもので、打太刀は仕太刀が十分になつたところを見て打たせる。
- (6) 小太刀の形は、「入り身になろうとする」を打つ。「入り身」とは、氣勢を充実して相手の手元に飛び込んでいく状態をいう。「なろうとする」ことから形に表さない。打突の機会を理解させる。
- (7) 目付は原則として、相手の目を見る。「遠山の目付」で行わせる。

- (8) 足さばきは「すり足」で行い、音を立てないようにさせる。一方の足を移動させたときは原則として他方の足を伴って移動させる。
- (9) 仕太刀の打突後の残心は、形に示されている、いないにかかわらず、十分な気位で残心を示すよう注意させる。打太刀は仕太刀の十分な残心を見届けてから、動作を起こすようにさせる。
- (10) 打太刀は一足一刀の間合から技を出し、仕太刀は打突したら物打ちが打突部位に確実に届くよう、気迫をこめて打ち下ろさせる。又、振りかぶった剣先が両拳より下がらないようにさせる。
- (11) 技に応じて、緩急強弱を心得て一拍子で行わせる。
- (12) 呼吸は構えるときに吸気し、前進するときは、丹田に気迫を込め、呼気の勢いで打突(発声)させる。
- (13) 形の実施中は、初めの座礼から終わりの座礼まで、特に構えを解いて後退するときも、気分をゆるめず、終始充実した気迫で行わせる。

7. 共通理解

- (1) 中段の構えの延長とは、棟の鐔元と切っ先を直線で結んだ延長をいう。
- (2) 太刀一本目、打太刀正面打ちを抜かれた剣先の高さは下段程度。
- (3) 太刀四本目、双方切り結ぶ位置は、およそ刀の中央部、剣先は、正面の高さ。
- (4) 太刀五本目、仕太刀の中段の構えは、一拵前に出し刃先は、やや斜め下。
- (5) 太刀六本目、仕太刀がすり上げ小手を打ったとき、右足を踏み出し左足を引き付けるを原則とするが、間合いによって引き付けなくても、踏み出したと解釈する。
- (6) 太刀七本目、仕太刀がすれ違いながら胴を打つときの方法。
- ① 右足を右前に開いたとき刀を左肩上に振り上げ、左足を踏み出すと同時に胴を打つ。
 - ② 右足を開いても(体は移動させない)刀を振り上げず、左足を踏み出すと同時に振り上げ

振り下ろし、一拍子で打つ。(修錬者の錬度に応じて指導する)

(7) 小太刀半身の構えの刃先の方向

① 中段半身の構えは、刃先をやや斜め下に向ける。

② 下段半身の構えの刃先は、真下とする。

8. まとめ

(1) 日本剣道形解説書、講習会資料(日本剣道形)を熟読・精通する。

(2) 日本剣道形の修錬を通じて、剣道の原点である剣の理法を学び、剣道の正しい普及発展に役立てることが目的である。

(3) 我が国の伝統文化として次代に正しく伝承しなければならない、その為に、平素から日本剣道形の修錬に努める必要がある。

以上

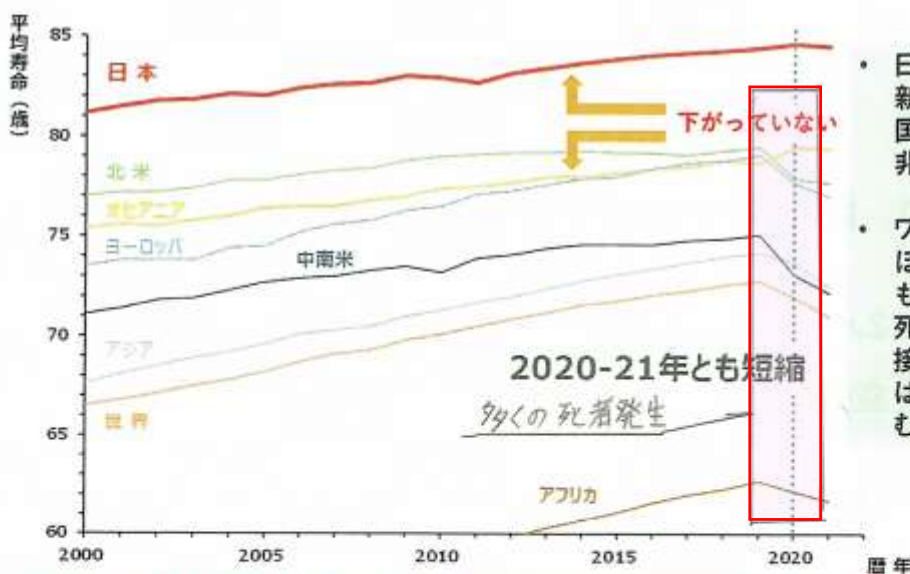
全日本剣道連盟令和5年度剣道中央講習会
4月2日（日）9:00~9:30
神戸市立中央体育館

感染症対策ならびに剣道の安全性

全日本剣道連盟・顧問医師、アンチ・ドーピング委員長

宮坂 昌之

新型コロナを契機に世界の平均寿命はどのように変わったか？



- 日本は世界の中ではもっとも新型コロナによる被害が少なかった国の一つ。一方、欧米諸国では非常に多くの方が亡くなった。✓
- ワクチン接種は日本と欧米諸国とでほぼ同程度。もしワクチン接種で「人がバタバタ死んだ」のであれば、ワクチン接種率の高い国々で平均寿命が減るはずだが、実際はそうになっていない。むしろ逆。✓

世界では2019年以來、日本とオセアニア以外の地域で大きく平均寿命が下がった

名古屋市大医・公衆衛生、鈴木貞夫教授作成

当面の問題点 = 新型コロナ感染症

新型コロナの感染力はインフルエンザと比べ物にならないほど高い

- 新型コロナで重症化する人の割合は大きく減ったが、オミクロン株が流行して以来、感染者が急増し、このために重症者、死者は第8波でもっとも多くなっている。
- 高齢者では免疫力が低下し、持病があるために、ワクチンの効果が十分に出ず、結果として重症者、死者が多くなる：最近の死者の約9割が70才以上。
- 子どもや若者にはコロナは「軽い」ことが多いが、実際は後遺症問題がある。
- 感染は若い世代から年代の高いほうに広がる傾向があるので、若い世代での感染を減らしたいが、ワクチン接種率が低いという問題点がある。

くしゃみ一発で、数百万個のウイルスが周囲に飛び散る

大きな飛沫：2メートル以内で落下 → 距離保持、マスク着用

✖ 小さな飛沫：空気中を漂う → 送風・換気

「新型コロナは どうせ全員が感染するので、抵抗は無駄だ」？

全面降伏したアメリカ、イギリス、スウェーデンでは、これまでの累積死者数は人口割合で日本の5~10倍であり、相変わらず一定程度の感染が続いている。

「もう日常を取り戻そう。欧米ではマスクをしていない」？

アメリカでは労働者の約10%が後遺症に悩み、約20万人のコロナ孤児が生まれている。
イギリスでは一部で相変わらず医療崩壊が続き、救急車がなかなか来ない。
欧米ではハイブリッド免疫保有者が非常に増えているが、日本では3~4割程度。残りの人たちはワクチン免疫しか持っていない=日本ではコロナにかかりやすい人が多い。

感染によっても免疫ができるので、自然に感染したほうがよいのでは？

1. 合併症をどうするのか？

- ・ 新型コロナ感染により心筋梗塞などの重篤な合併症が大きく増える)
- ・ 一般にウイルス感染により、アルツハイマー病や血管性痴呆のリスクが増える。

2. 後遺症をどうするのか？ (新型コロナ：約1割の人が3ヶ月以上続く後遺症症状を示す)

3. まわりの人に広げるリスクをどう考えるか？

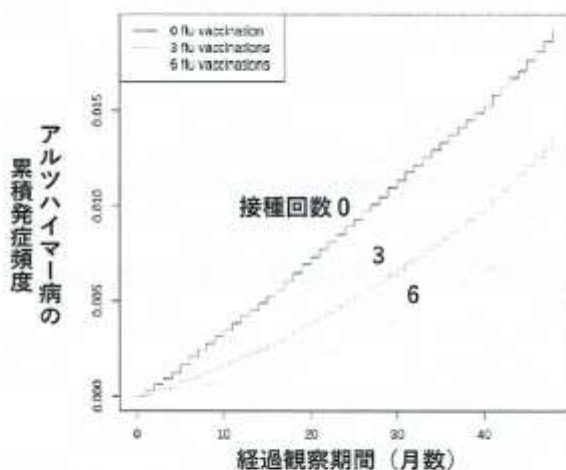
○ウイルス感染後に種々の神経疾患発症リスクが増加する

ウイルス感染	ウイルス感染後に見られる神経疾患	ハザード比	
		FinnGen	UKB
ウイルス脳炎	アルツハイマー病	30.72	22.06
インフルエンザ肺炎	アルツハイマー病	4.11	2.60
インフルエンザ肺炎	ALS (筋萎縮性側索硬化症)	1.81	7.91
インフルエンザ肺炎	認知症 (generalized dementia)	3.48	4.44
インフルエンザ肺炎	パーキンソン病	1.72	2.98
インフルエンザ肺炎	血管性痴呆	4.62	6.79
帯状疱疹	血管性痴呆	2.33	6.22

ウイルス感染を甘く見てはいけない！
風邪ウイルスぐらいかかってもいいと思っていると、あとで困ったことになることがある。

Levine KS et al, Neuron, Jan 19, 2023.

インフルエンザワクチン接種によりアルツハイマー病の発症頻度が下がる



2009年から2019年の間、65才以上で6年間以上痴呆症状がない集団から、約93万例のインフルエンザワクチン接種が有と無しのペアをマッチングにより選び (平均73.7才、56.9%女性)、その後のアルツハイマー病の発症頻度を比較した。

Bukhbinder AS et al, J Alzheimer Dis, 88:1061, 2022.

アメリカの65才以上の集団では、インフルエンザワクチン接種の回数が増えるに連れてアルツハイマー病の発症頻度が下がっていた。

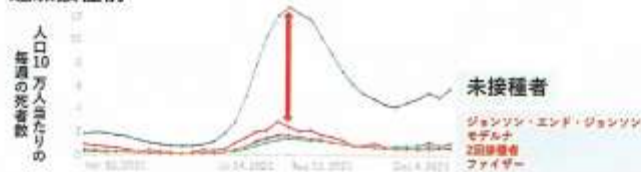
→ インフルエンザワクチン接種はアルツハイマー発症防止に有効である。

ワクチン接種を含め感染予防をする利点

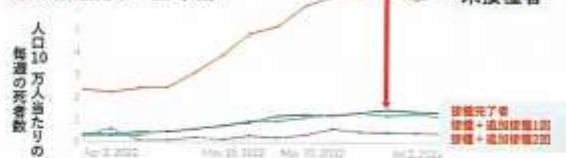
- 本人が感染しにくくなる。
- 本人が重症化しにくくなる（感染予防により浴びるウイルス量が減るため）
- 本人が合併症を起こしにくくなる（アルツハイマー、心筋梗塞、脳卒中…）
- 万が一、本人が感染しても、他人に広げにくくなる。
- 環境への広がりを最低限にすることができる。

ワクチン接種は新型コロナによる死者数を大きく減らしている

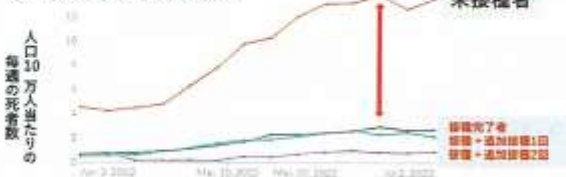
追加接種前



追加接種後：全年齢



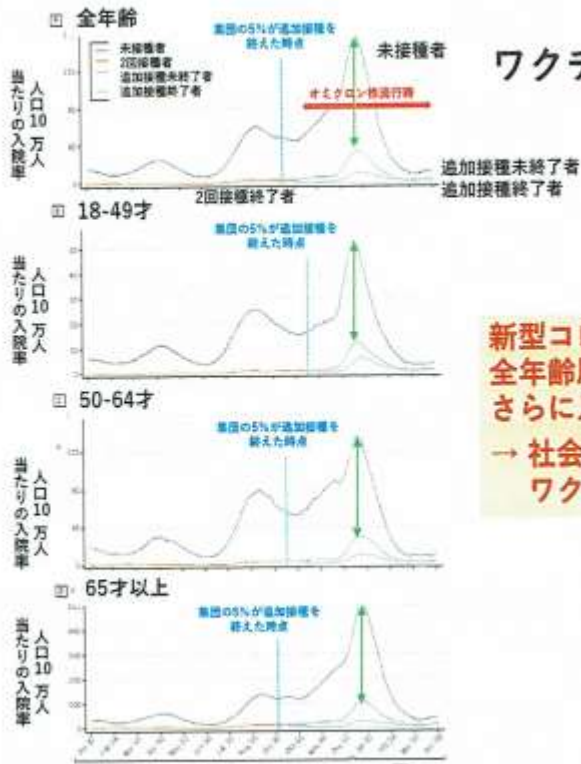
追加接種後：65才以上



アメリカのデータ
 全年齢層において、ワクチン接種により
 新型コロナの死亡率は大きく減少し
 （未接種者に比べて5分の1以下）、
 追加接種によりさらにその効果が高まっていた。

これは日本を含む世界各国でほぼ同様。
 → ワクチン接種で死者は増えていない。

Our World in Data: "COVID-19 weekly death rate by vaccination status"



ワクチン接種は入院者数を大きく減らしている

アメリカで、1/1/2021-4/30/2022のオミクロン流行時、約19万人の新型コロナ入院者について、そのワクチン接種経歴を調べた。

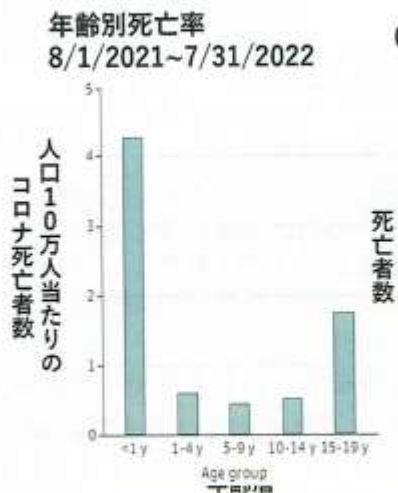
新型コロナワクチン接種は、オミクロン流行時においても、全年齢層で入院者数を大きく低下させた。追加接種により、さらに入院率が低下した。

→ 社会を守るためには、全年齢層においてワクチンの追加接種を行っていくことが必要。

Havers FP et al, JAMA Int Med, Sept 8, 2022.

子どもは新型コロナで重症化しないというが… (アメリカの統計)

Flaxman S et al, JAMA Network Open, Jan 30, 2023.



1歳以下での死亡者がかなり見られている



オミクロン株の流行とともに0-19歳児の死亡が増えた

- 新型コロナは9-19歳の病気による死因のうちの第5位。
- 感染症あるいは呼吸器疾患のうちの死因第1位。

ワクチン接種により重篤な副反応が起きる頻度は？

ワクチンの種類	100万回接種あたりの重篤な副反応頻度
破傷風トキソイド	0.5
インフルエンザ	2
二種混合（ジフテリア+破傷風）	3
ポリオ	7
麻しん、風しん、水痘、四種混合、ヒブ、BCG	10
1価ロタウイルス	30
2価ヒトパピローマウイルス	40
4価ヒトパピローマウイルス	70
	90

飛行機に乗って死亡事故に遭うリスク：100万回搭乗で9回 \approx 10万回に1回程度

車両免許保有者が一生のうちに死亡事故を起こすリスク \approx 1万回に1回程度

ただし、危ないから車や飛行機に乗らないというチョイスはありうる。

結局、どちらもゼロリスクではないので、ベネフィットとリスクを天秤にかけることになる。

「免疫力を強くする」宮坂昌之（講談社ブルーバックス）

ワクチンはなぜ必要か？ → 危険な相手に対する識別能力と撃退能力を上げる

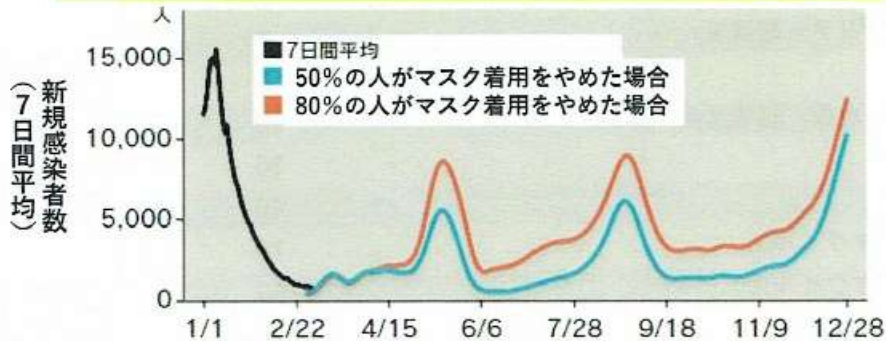
1. ワクチンを受けた人は、その感染症にかかりにくくなる：**個人の感染予防**
(完全に守られるようになる場合と、感染リスクが低下するだけの場合がある：病気による)
2. ワクチンを受けた人は、その感染症で重症化しにくくなる：**個人の重症化予防**
3. 多くの人がワクチンを受けることにより、社会全体がその感染症から守られるようになる：**社会全体の防衛**

一方、ワクチンによって起きるリスクも存在する。

ワクチンによるベネフィットとリスクを天秤にかけて考えることが必要

今後の新型コロナ流行はどうか？ - AI 解析 (名古屋市大・平田晃正教授)

AIを使った新規陽性者数の推定値 (1週間平均 東京都)



おそらく、新型コロナウイルス感染症はしばらくは消えない。(数週間)
しかし、死者数が大きく増える可能性は高くない(今程度の変異株であれば)。

TPOに応じた感染対策が大事であろう。

面マスクを着用しない場合はシールド着用をお願いします ✓

全剣連はシールドの飛沫防止能力について、再度科学的調査を実施しました。シールドは多くの種類が販売されていますが、全剣連の行った調査によれば、大きな飛沫(5 μ 以上)については各シールドとも一定の効果がありました。しかし、小さな飛沫(0.5 μ 以上)については各シールド間で飛沫防止能力に差があり、シールドの形状によっては、ほとんど防止能力がないものもありました。ただし、全剣連の調査では、シールドの下部の隙間をスポンジ状のもので塞ぐと、飛沫飛散の防止に大きな効果を得ることができました。ぜひ参考にしてください。



⑥ 飛沫の吸い込みを避けるためには通風・換気が重要
(工業用送風機、CO₂モニターを使って換気確認)

令和4年度 女子委員会 ~新たな飛躍を目指して~

令和5年2月25日-26日

0

幼少年指導については、段階的に前向きに、優しく、解りやすい言葉で根気強く行うことが大切。

令和4年度事業計画及び事業報告

各委員会との連携を図りながら、
女子剣道の普及と質の向上を図る

1. 幼少年剣道の活性化及び女性指導者の指導力向上
2. 女子審判員の育成及び審判技能の向上
3. 幅広い年齢層の女性が参加できる魅力ある大会の企画
4. 子育て中の女性剣道の支援方策
5. 広報活動の活性化
6. 各都道府県連盟女子代表者との交流及び連携の検討

1

幼少年がやる気を持てるように、試合に勝つためにはあきらめないで継続して頑張ると勝てるようになるよ！（動機付け）

幼少年剣道の活性化を目指す 女子東北ブロック講習会 ~子供とともに剣道の魅力に迫る~

【1日目】

13:00	開講式/役員挨拶/真砂 威 副会長 小笠原宏志 若手剣道連盟会長
13:20	講話1 女性指導者への期待/真砂 威 副会長
13:40	講話2 普及委員会から期待/姫野純二 普及委員
14:10	講話3 医学的見地から女子剣道を考える 門野由紀子 アンチドーピング委員
14:35	指導法1 基本動作/軽米潤世・龍澤明美 女子委員
15:20	指導稽古 全講師
16:00	一日終了

2

東北ブロック講習会



3

幼少年剣道の活性化を目指す 女子東北ブロック講習会 ~子供とともに剣道の魅力に迫る~

【2日目】

9:00	開校式/役員挨拶/真砂副会長
9:10	講話4 憧れの有名選手/武田道大選手・曾野隆介選手 村山千夏選手・須成麗江選手
9:50	①初心者剣道体験/軽米潤世・佐藤厚子女子委員 門野由紀子アンチドーピング委員（補助）
	②少年少女剣士基本稽古/有名選手4名
	③指導法（女子受講生）/下川祐造指導育成本部
10:30	少年少女剣士合同稽古/有名選手・全講師、女子受講生先立ち
11:10	閉講式・幼少年との記念写真・アンケート記入提出

4

幼少年剣道の活性化を目指す 女子九州ブロック講習会 ~子供とともに剣道の魅力に迫る~

【1日目】

13:30	開講式/役員挨拶/神谷明文 副会長 尾方 正翔 熊本剣道連盟会長
13:35	講話1 女性指導者への期待/神谷明文副会長
13:55	講話2 今後の女子剣道について/藤田弘美普及委員
14:10	講話3 医学的見地から女子剣道を考える 酒井彩乃アンチドーピング委員
14:55	指導法1 基本動作/軽米潤世・龍澤明美女子委員
15:35	指導稽古 全講師
16:15	質疑応答 一日終了

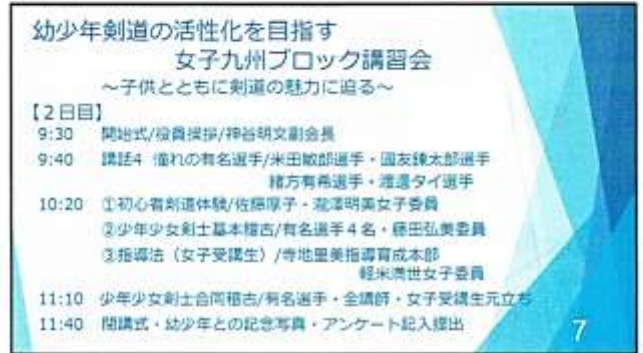
5

各ブロックとも、幼少年の反応は大変楽しかったようです。女子委員会が剣道普及の底上げにご尽力されていることをつくづく感じました。

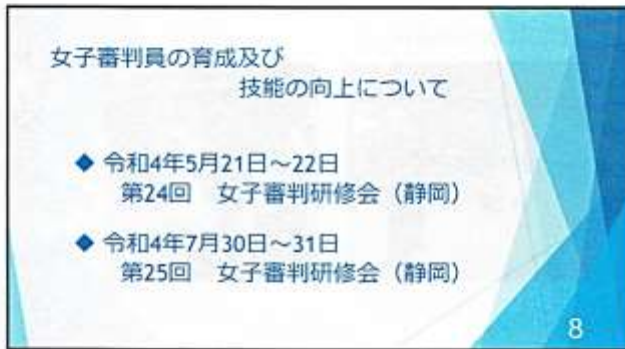
少数ではあるが、女子は2日間の参加は厳しいので1日の中でできるようにとの要望もあり。



6



7

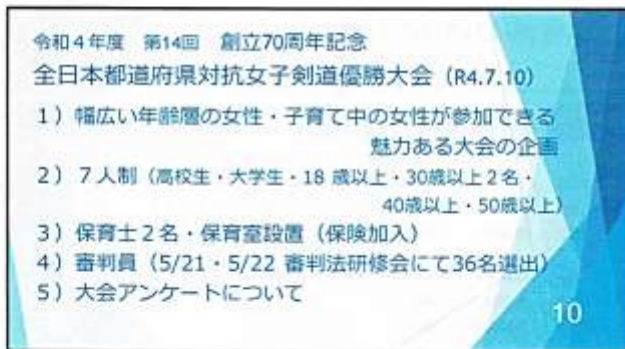


8

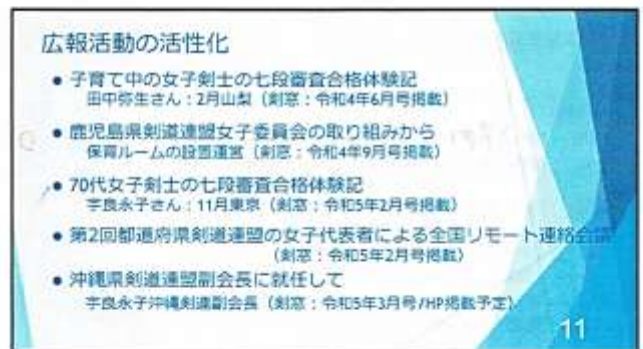


9

女子審判研修会は、参加者全員が熱心に取り組む姿があった。課題としては、今後審判の経験値を高めていく必要も感じられたそうです。



10



11

選手7人制でチームに幅があり、最後まで勝敗の行方が分らず大会が盛況であった。今後も7人制で大会が開催される様です。

幼少年女子東北ブロック講習会(幼少年経験者)アンケート調査結果

1. 参加者一覧

資料2-1

学年	剣道経験年数							合計
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	
1年	2名		1名					3名
2年	5名	1名	3名					9名
3年	1名		2名		2名			5名
4年	2名	2名	1名	1名	4名			10名
5年	1名	4名			2名	1名		8名
6年		2名	6名	2名	1名	3名	5名	19名

計54名

2. 講習会はどうでしたか

	1年～3年生(17名)	4年～6年生(37名)
ア. すごく楽しかった。	14名(82.4%)	33名(89.2%)
イ. まあまあ楽しかった。	3名(17.6%)	4名(10.8%)
ウ. 楽しくなかった。	0	0

3. 一番楽しかった事は何ですか

	1年～3年生(17名)	4年～6年生(37名)
ア. 基本稽古	2名(11.8%)	3名(8.1%)
イ. 稽古	14名(82.4%)	21名(56.8%)
ウ. 有名選手のスピーチ	1名(5.8%)	13名(35.1%)

4. 1年～3年生の感想

- ① いろいろな先生と稽古が出来て楽しかった。
- ② めちゃくちゃ楽しかった。
- ③ 来年もあれば来たい。
- ④ 有名な選手の人達と稽古できて楽しかった。
- ⑤ 有名選手の先生方がすごいと思いました。

5. 4年～6年生の感想

- ① 有名選手のスピーチの中で、「有名選手もこういうふうに思って稽古してきたんだな」という事がわかり勇気をもらいました。

- キ、実技講習では、とても分かりやすく体を使って楽しく出来ました。
- ク、本講習会で学んだ事を持ち帰り、日々の指導に活かしたいと思います。
- ケ、足さばき・打ち込み等、楽しく子供たちがやる気を起こさせる仕方を参考になりました。この指導方法は間違いなく、子供の興味を引くものが沢山ありました。
- コ、日本一になられた有名な先生方の講話や実技指導を受講出来て光栄でした。
- サ、1日目の互格稽古は、全体で切り返しや基本稽古をした後に稽古に入った方が怪我等のリスクはなく、お互いの稽古もスムーズにいったかと思います。
- シ、普段の稽古では男性が多いのですが、参加者全員が女性で、少年剣道や女子剣道の活性化という同じ思いの先生方と一緒に楽しく学べる講習会に参加して良かった。
- ス、女子剣道への期待・役割等勉強になりました。また、型にはまらない自由で楽しい指導には目からうろこでした。また講習会を是非開いてください。
- セ、私の子供2人と一緒に参加出来たらいいなと思いました。
- ソ、女性指導者への期待の講話は、身が引き締まる思いとなりました。
- タ、データに基づく講話には説得力があり、自県で伝達の際に助かります。
- チ、もう少し先生方と稽古をさせて頂く時間があつたらなと思いました。
- ツ、講習会の日程では、あと半日くらい受けたい気持ちでした。
- テ、講習内容（特に実技）の動画があれば地元の先生方と勉強したいと思います。是非データを頂けたらと思います。
- ト、今回学んだ事を他の仲間にも伝え、剣道の普及発展に繋げて行きたいと思います。
- ナ、初心者指導する大変さや難しさを痛感しています。今回先生方が楽しまれている様子を見て、まずは自分がやって見せる、そして楽しむことが大切だと思いました。大変有意義な時間でした。熊本県の子供達が楽しく元気に活動している姿を見て、自分の指導している子供達のお手本にしたいと思いました。頑張って指導に励みます。
- ニ、有名選手の話や子供たちの指導をしている先生方を見て、粘り強く続けていくことの大切さや前向きさが必要だと感じました。地元の子供達にも伝えたいと思います。今回の講習会を今後の指導に活かして行けるように、また稽古を続けていきたいと思いました。貴重な時間ありがとうございました。以上報告致します。

令和5年1月28日～29日 幼少年女子九州ブロック講習会
於：熊本県合志市総合体育館

女子委員会 佐藤厚子
軽米満世
瀧澤明美

幼少年女子九州ブロック講習会 女子講習生アンケート調査結果 資料2-2

1. 講習会の内容について
- | | | | | |
|--------------|------|-------------|------|-----|
| | 1/29 | 48名 | 1/29 | 41名 |
| ア. 大変良かった | | 36名 (87.8%) | | |
| イ. まあまあ良かった | | 5名 (12.2%) | | |
| ウ. あまり良くなかった | | 0名 | | |
| エ. 全然良くなかった | | 0名 | | |
2. 講習会の日程について
- | | |
|--------------|-------------|
| ア. 大変良かった | 29名 (70.7%) |
| イ. まあまあ良かった | 11名 (26.8%) |
| ウ. あまり良くなかった | 1名 (2.4%) |
| エ. 全然良くなかった | 0名 |
3. あなたは本講習会にどのような目的で参加されましたか？
- ア. 幼稚園生から小・中学生の初心者に対して、魅力ある指導法を学びたかった。
- イ. 幼少年剣道の指導内容や質の向上、更に年齢に応じた指導法を学びたかった。
- ウ. 九州の女性剣士との交流や一流の女性トップの方々の講話を聞き、一人でも多くの先生方から指導を受けたい。
- エ. 女子委員会が発足されて間がなく、何をどのような活動をすれば良いか模索しています。全剣連女子委員会の取組を実際に見たいと思い参加。
- オ. 幼少年への指導法のアイデアを得るため、そして普段できない沢山の先生方と稽古がしたかった。
- カ. 幼少年の指導に少しでも協力し、お世話になった地元の剣道界に恩返しをしたかった。そのために特に興味を持たせる方法を学びたかった。
- キ. 地元での幼少年減少の対策として、見学会や体験会等の企画を考えています。その為何かアイデアやヒントがあればと思い参加。
- ク. 全剣連女子委員会企画の講習会、女性講師による講話を直接受講したかった。
4. 感想
- ア. 幼少年指導の中で、遊び・ゲームの要素の入った実例を示して頂き大変参考になった。
- イ. 先生方の講話を聞き、剣道人口の減少のデータに改めて危機感を覚えると共に、指導者仲間と情報を共有しながら、子供一人ひとりを活かし剣道指導を模索していきたいと思いました。
- ウ. とても寒い時期でしたが、体育館の施設・空調設備も整っており快適な環境の中で受講出来て大変良かった。
- エ. 大変ゆとりがあり負担なく参加できましたが、2日間ですといろいろな調整をしなければならぬので、1日に詰めて実施できるのではないかと思います。
- オ. できれば1日終日の日程で行って頂きたかった。
- カ. 内容が盛り沢山で良かったが、もう少し深く学べればと思いました。

- キ、実技講習では、とても分かりやすく体を使って楽しく出来ました。
- ク、本講習会で学んだ事を持ち帰り、日々の指導に活かしたいと思います。
- ケ、足さばき・打ち込み等、楽しく子供たちがやる気を起こさせる仕方を参考になりました。この指導方法は間違いなく、子供の興味を引くものが沢山ありました。
- コ、日本一になられた有名な先生方の講話や実技指導を受講出来て光栄でした。
- サ、1日目の互格稽古は、全体で切り返しや基本稽古をした後に稽古に入った方が怪我等のリスクはなく、お互いの稽古もスムーズにいったかと思います。
- シ、普段の稽古では男性が多いのですが、参加者全員が女性で、少年剣道や女子剣道の活性化という同じ思いの先生方と一緒に楽しく学べる講習会に参加して良かった。
- ス、女子剣道への期待・役割等勉強になりました。また、型にはまらない自由で楽しい指導には目からうろこでした。また講習会を是非開いてください。
- セ、私の子供2人と一緒に参加出来たらいいなと思いました。
- ソ、女性指導者への期待の講話は、身が引き締まる思いとなりました。
- タ、データに基づく講話には説得力があり、自県で伝達の際に助かります。
- チ、もう少し先生方と稽古をさせて頂く時間があつたらなと思いました。
- ツ、講習会の日程では、あと半日くらい受けたい気持ちでした。
- テ、講習内容（特に実技）の動画があれば地元の先生方と勉強したいと思います。是非データを頂けたらと思います。
- ト、今回学んだ事を他の仲間にも伝え、剣道の普及発展に繋げて行きたいと思います。
- ナ、初心者指導する大変さや難しさを痛感しています。今回先生方が楽しまれている様子を見て、まずは自分がやって見せる、そして楽しむことが大切だと思いました。大変有意義な時間でした。熊本県の子供達が楽しく元気に活動している姿を見て、自分の指導している子供達のお手本にしたいと思いました。頑張っ指導に励みます。
- 二、有名選手の話や子供たちの指導をしている先生方を見て、粘り強く続けていくことの大切さや前向きさが必要だと感じました。地元の子供達にも伝えたいと思います。今回の講習会を今後の指導に活かして行けるように、また稽古を続けていきたいと思いました。貴重な時間ありがとうございました。以上報告致します。

令和5年1月28日～29日 幼少年女子九州ブロック講習会
於：熊本県合志市総合体育館

女子委員会 佐藤厚子
軽米満世
瀧澤明美

1 期 日 令和5年4月2日（土）～3日（日）

2 場 所 兵庫県神戸市

3 指導内容及び展開計画

親の期待：礼儀・躰・仲良く・強い選手

子供期待：仲良く・楽しく・強い選手

(1) 指導内容＜幼少年指導の具体例＞

○子供たちに興味関心を持たせ、楽しく剣道を学ぶ活動の紹介

○発達段階等、子供の実態に応じた段階的な指導の紹介

(2) 展開計画

時配	活動内容	活動の趣旨及び指導上に留意点
0	1. 趣旨と流れの確認	※垂、胴を装着し竹刀を持って集合
	テーマ：子供の実態に応じて、段階的に楽しく学ぶ剣道の基本動作の例の紹介	
3	2. 活動の実際 ※準備運動 (1) 気・剣・体の一致を意識した楽しい動機付け ① 発声選手権（気迫のある声） ② 剣道じゃんけん（面・小手・胴）（礼法・目付） ③ その他紹介：すり足リレー・すり足じゃんけん ・手刀攻防など	※対人性を生かしたアイスブレイク的な動きで心と体をほぐす ※剣道の特性に触れ ・発声（丹田から） ・足さばき ・左足の引きつけ
15	(2) 基本動作の習得に向けた活動例（手刀で段階的に） ①自然体・体さばき（足さばき） ②送り足（前進後退、左右など） ③ツーステップ⇒体を突き出す ④スキップ⇒股関節からの踏み込み 1. 2. 3. ⇒1. 2. ⇒1. ⇒0 から踏み込んで面⇒残心 ・ヤ-ヤ-ヤ-面・面・面⇒ヤ-踏み込んで面⇒残心 ・ヤ-ヤ-ヤ-小手・小手・小手⇒ヤ-踏み込み足小手⇒残心 ・ヤ-ヤ-ヤ-胴・胴・胴⇒ヤ-踏み込んで胴⇒残心	※立腰教育 ・腰骨を立てることで、やる気やけじめ自己を律する等を培い生きる力を育む ・後足の引きつけ（後⇒右足、前⇒左足） ・姿勢・目付 ※左足の引きつけ・股関節（紙コップ） ※残心（不離五向） ・目・つま先・臍・剣先・心
40	(3) 竹刀の持ち方・構え方（中段の構え） ① 素振り⇒正面・小手・胴（振り頭上で返す） ② 竹刀で基本動作を身につける ・ヤ-ヤ-ヤ-面・面・面⇒ヤ-踏み込んで面⇒残心 ・ヤ-ヤ-ヤ-小手・小手・小手⇒ヤ-踏み込み足小手⇒残心 ・ヤ-ヤ-ヤ-胴・胴・胴⇒ヤ-踏み込んで胴⇒残心	※竹刀の安全点検（どこを確認するか） ※中段の構え ・左手の握り・剣先は一足一刀の間合において両目の中央、または左目の方向 ・竹刀の握る位置に印を付ける紹介 ※刃筋 ※打突部・打突部位 どこで、どこを打つのか・気剣体の一致 ・間合（相手との距離） ・一足一刀・打ち抜けさせる
45	③ 打ち方・打たせ方（打たせ方2通りの紹介） ・対人：元立ち（師匠）と掛かり手（弟子） ・礼⇒前進後退⇒面・小手・胴打ち抜けて⇒残心 ※振りかぶりと右足の踏み込みを合わせる（言葉で）	※剣道の魅力は、人間形成に繋がる武道としての奥深さにある。
	3. まとめ ※幼少年指導は、色々な子供への配慮、母親が子供を優しく教え諭すような眼差しで褒めて伸ばす指導を	※難しいことを易しく、易しいことを深く、楽しく伝える工夫が求められる

・大きな声
・気を合わせる
・礼（目を見て）
・かっこいい

令和5年4月1日～2日

令和5年度 剣道中央講習会「指導法」

1. 指導目的

わが国の伝統と文化に培われた剣道を正しく伝承してその発展を図り、「剣道の理念」に基づき高い水準の剣道を目指す。

(1) 剣道の理念 「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」 昭和50年3月20日制定

- ① 剣 — 日本刀の観念
 - やり直しがきかない厳粛なものである。
 - 慎重に然も自己の全力を尽くす。
- ② 理法 — 剣法上の理論・筋道
 - 刀法—正確な打突 (刃筋、手の内、鎧の使い方、一拍子の打突)
 - 身法—適正な姿勢 (上虚下実、体捌き、目付け、呼吸)
 - 心法—充実した氣勢 (沈着冷静、勇猛心、克己心、判断と決断)
- ③ 人間形成
 - 自己形成—何の思慮分別を用いなくても出来る働き。
 - 社会形成—慈悲心、貢献。

※ 小川忠太郎先生講話より「五戒」=直心

- 自己形成
 - 1 嘘をついてはいけません
 - 2 怠けてはいけません
 - 3 やりっぱなしにしてはいけません
- 社会形成
 - 4 わがままをしてはいけません
 - 5 人に迷惑をかけてはいけません

(2) 高い水準の剣道

事理一致、心気力一致

- 基本を踏まえ、気で攻め理で打つ
- 機を知る 機を作る 機にゆく
- 三無の剣道 無駄なく、無理なく、無法なく
- 初太刀一本

2. 指導者としての在り方 (指導者は剣道を高める人、広める人)

- (1) 剣道指導者である前に、立派な社会人であること
- (2) 信念と愛情を持った指導者であること
- (3) 高い技術と理論及び審判技術に熟達していること
- (4) 剣道の特性を能率的、的確な指導ができること
- (5) 優れた才能の発見とその伸長ができること

3. 指導の在り方

- | | |
|--------------------------|------------------------------------|
| (1) 日本古来の伝統文化としての指導法 | 三磨の位:良い指導者に学ぶ。工夫研究を行う。それを錬る。 |
| (2) 師弟同行 | 指導を受ける者とともに修練する。そのことにより技術と精神を教える。 |
| (3) 基本を重視した指導 | 試合に勝つことだけでなく、将来のことを見据えて伸びる稽古を指導する。 |
| (4) 意欲と興味を持たせながらの指導 | 指導を受ける者とともに修練する。そのことにより技術と精神を教える。 |
| (5) 技能区分、心身の性質さに応じた的確な指導 | 年齢、性別、体力、生活などを考慮した修練をさせる。 |
| (6) 明確な言語説明と的確な示範による | 難しい言葉でなく分かりやすい言葉で短く指導する。 |
| (7) 安全管理 | 竹刀の点検、道場の点検、手足の爪の点検、換気の点検等 |

4. 指導目標

- (1) 初心者
 - 剣道を楽しく受け止められるよう興味や関心を高める。
 - 剣道の基本的な動作や作法を正しく身につける。
- (2) 初級者（三段以下）
 - 生涯を通して剣道に親しみ、修練を通して豊かな生活をつくり出すための基礎的な態度や安全に対する態度を養う。
 - 対人的技能を身につけさせ、気剣体の一致した、しかり技を主に指導する。
- (3) 中級者（四段および五段）
 - 現代社会に必要な社会態度の向上に努め、自己の確立を図る。
 - 鍛錬度を高めることにより、技に対して自信を持ち、懸待一致の剣道ができるようにする。
- (4) 上級者（六段以上）
 - 人格を高め、社会的貢献と剣道の正しい伝承に寄与する態度を養う。
 - 理合を熟知し、高段者に相応しい心気力一致の剣道を目指すと共に審判能力、指導能力を高める。

5. 指導法講習における「重点事項」

1. 受講者の特性に応じて効果的に指導する。
2. 所作、礼法、着装について徹底指導する。
3. 刃筋・手の内・冴え・鎗を意識した竹刀の操作について徹底指導する。
4. 一足一刀の間合から、一拍子で正しく打ち切る技能を中心課題とするとともに、それぞれの技量に応じて理に適った応用技の習得を図る。
5. 正しい攻防の指導を徹底する。
 - (1) 氣勢の充実をもって中心を外さない攻め合いを重視する。
 - (2) 安易に左拳を中心線から外す防御体勢を厳しく是正する。
6. 正しい鍔ざり合い（鍔と鍔が接する構え）からの技を理解させ徹底指導する。
 - (1) 鍔ざり合いからの技能を高める。
 - (2) 分かれる場合は、積極的に技を出すか、相互に間を切る。
7. 「木刀による剣道基本技稽古法」の普及を図る。
8. 剣道の理解を深めるため、講話を積極的に取り入れ、心の問題について認識を深め、修練を通して道徳的価値観の育成を図る。

令和5年度(第58回) 剣道中央講習会 日程表 (案)

[令和5年4月1日(土)～4月2日(日) 於・神戸市立中央体育館]

全日本剣道連盟

4月1日(土)		4月2日(日)	
13:00	集合 役員・講師打合せ	集合	
13:30	開講式 <i>(網代会長挨拶)</i>	感染症対策並びに剣道の安全性 宮坂講師 <i>ウイルス感染と後遺症 他</i>	9:00
13:40	令和5年度全剣連の事業計画他 (含む中期計画進捗状況) 網代会長 ・中谷専務理事 <i>剣窓(4月号)詳細掲載</i>	女子委員会 (女子委員会活動内容とお願い) 佐藤講師 <i>(動画での報告も有)</i>	9:30
14:20	ガイドラインを踏まえた 試合・審判の留意点 並びに今後の展開 香田講師 <i>(試技者兵庫県警の皆様)</i>	休憩	10:00
15:10	休憩	指導法 濱崎講師 (剣道指導要領・講習会資料の活用) <i>目的、指導者としての在り方、重要事項</i> 軽米講師 (幼少年指導法例) <i>女子委員会活動→剣道の普及</i>	10:10
15:20	日本剣道形 中田講師 <i>伝統文化、剣道形を正しく伝承 共通理解 木刀1、4、6、7本目 小太刀 3本</i>	休憩	12:10
16:30 <i>17:00</i>	稽古会の在り方 <i>廻り稽古(2分×8回)</i>	普及委員会 「剣道の理念」理解の深化に向けて <i>整理中(最終段階)</i>	12:20
17:20	一日目終了	質疑応答 (事例発表) 藤原委員長 <i>福島県剣道連盟, 山梨県剣道連盟</i>	13:00
		閉講式	13:30

※計画の都合により変更の場合もある。